

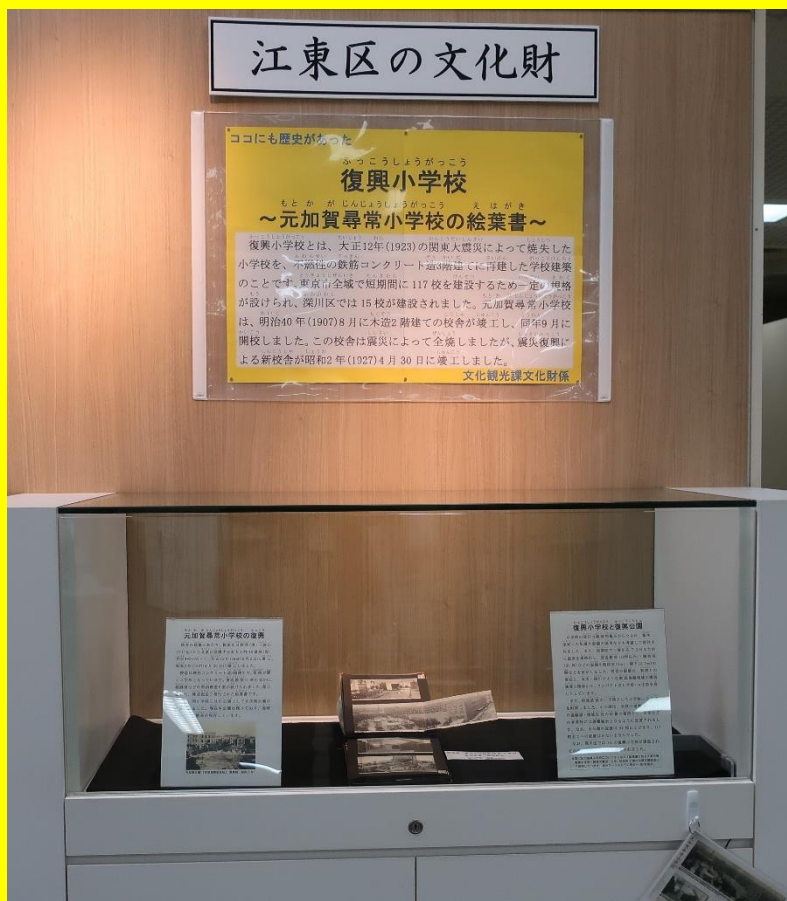
ココにも歴史があった

ふっこうしょうがっこう 復興小学校

もと か が じんじょうしょうがっこう え は が き ～元加賀尋常小学校の絵葉書～

ふっこうしょうがっこう たいしょう かんとうだいしんさい しょうしつ しょうがっこう ふねんせい てっきん
復興小学校とは、大正12年(1923)の関東大震災によって焼失した小学校を、不燃性の鉄筋
コンクリート造3階建てに再建した学校建築の事です。東京市全域で短期間に117校を建設する
ため一定の規格が設けられ、深川区では15校が建設されました。

もと か が じんじょうしょうがっこう めいじ もくぞう かいだ こうしゃ しゅんこう どうねん かいこう
元加賀尋常小学校は、明治40年(1907)8月に木造2階建ての校舎が竣工し、同年9月に開校
しました。この校舎は震災によって全焼しましたが、震災復興による新校舎が昭和2年(1927)4
月30日に竣工しました。





えはがき とうきょうしもと か が じんじょうしょうがっこう がっこうぜんけい らくせいきねん
 絵葉書「東京市元加賀尋常小学校 学校全景（落成記念）」

発行時期：不明

発行元：美東写真館

ふっこうしょうがっこう ふっこうこうえん 復興小学校と復興公園

しょうがっこう せつけい きょういくてきかんてん えいせい ほあん はいりよ せつび けんよう こうりよ
 小学校の設計は教育的観点からなされ、衛生・保安への配慮や設備の兼用なども考慮して
 せつけい たんきかん こうじ かんりよう せつけい きかく か ふつうきょうしつ つぼ
 設計されました。また、短期間で工事を完了させるために設計を規格化し、普通教室(18坪
 いない しょうくいんしつ つぼ めんせき かいだんしつ ろうか はば せつてい こうしや
 以内)・職員室(20坪)などの面積や階段室(4m)・廊下(2.7m)の幅などを設定しました。校舎の
 はいち かんりじょう べんぎ ほんじょ ふかがわ なんじゃくじばんちいき こうぞうきょうど かんけい
 配置は、管理上の便宜と、本所・深川のような軟弱地盤地域の構造強度の関係から、コンパクト
 なL字形・コ字形を良しとしています。

また、校地拡張の一手段として小学校に小公園を附設しました。小公園は、学校の
 うんどうじょう じどう ゆうぎじょう ちいきじゅうみん きゅうよう ばしよ さいがい ひじょうじ ひなんばしよ
 運動場・児童の遊戯場・地域住民の休養の場所とし、災害などの非常時には避難場所となるよ
 うに設置されました。なお、小公園の設置は52校にとどまり、117校全てへの設置はかないませ
 んでした。

なお、深川区では15の復興小学校が建設され、その内の7校に小公園が設置されました。

※深川区の復興小学校についてまとめた『絵葉書で見る江東百景 復興小学校—関東大震災—』を、区役所2階の広報広聴課窓口で販売しています。

もと か が じんじょうしょうがっこう ふっこう 元加賀尋常小学校の復興

こうしゃ けんちく 校舎の建築にあたり、こうち きゅうこうしゃ げん みよし ふきん ほくとう いち 校地を旧校舎(現・三好3-10付近)から北東に位置する東大工町 48 番地(現・しらかわ たいしょう 白河4-3-19)とし、大正15年(1926)6月2日にちやっこう しょうわ 着工、昭和2年(1927)4月30日にしゅんこう 竣工しました。

こうしゃ てっきん 校舎は鉄筋コンクリート造3階建てで、ぞう かいだ みなみがわ ひら 南側が開くコ字形となっています。ふつうきょうしつ 普通教室31室のほかに、さいほうしつ とくべつきょうしつ もう 裁縫室などの特別教室6室が設けられました。てんじりょう らくせいきねん はっこう 展示資料は、落成記念に発行されたえはがき 絵葉書です。

どうしょうがっこう しょうこうえん 同小学校には小公園としてもと か が こうえん せっち 元加賀公園が設置されました。げんざい こうえん のこ 現在も公園は残っており、とうじせいさく へきせん げんそん 当時製作された壁泉が現存しています。



元加賀公園(『帝都復興記念帖』、復興局、昭和5年)